

平成 24 年度第 1 回恵那市総合計画推進市民委員会 (会議議事録要約版)

日時：平成 24 年 8 月 3 日（金）

午後 1 時 30 分～

場所：岩村振興事務所大会議室

-
- 1 委嘱書の交付
 - 2 会長あいさつ
 - 3 市長あいさつ
 - 4 会議の公開、会議録の公表について（確認）
 - 5 議事
 - (1) 推進市民委員会による総合計画後期計画の進行管理について
 - (2) 総合計画後期計画の達成状況について
 - (3) 総合計画推進市民委員会部会の再編について
 - 6 全体会閉会
-

欠席委員

安藤奈都美 加藤規久 鎌田基予子 樹神和昭 近藤良三 田中征衛 松井眞

1 委嘱書の交付

■事務局 皆さんこんにちは。暦の上では8月6日までは大暑で、1年で一番暑い時期の暑い時間帯に岩村までお運びいただきありがとうございます。ただいまより第1回総合計画推進市民委員会を開催するのでよろしくお願ひしたい。

今年度最初の会議なので委員の中で交代された方を紹介する。大嶋晋一委員、三宅毅明委員に市長から委嘱書を交付する。なお、安藤奈都美委員は欠席である。

[市長から委嘱書を交付]

■委員 この5月に観光協会の専務となった。恵那市のマスタープランの中で観光、まちづくりをもっと進めたい。

■委員 4月に椋実区長となりいきなりこの大役となった。皆さんのご指導をお願ひしたい。

■事務局 ありがとうございます。1年間よろしくお願ひしたい。

資料4ページに、市の部長職の名簿がある。市も4月1日、7月1日に人事異動がありメンバーが代わった。備考に（新）とあるのが新職員である。よろしくお願ひしたい。名簿をもって紹介に代える。

2 会長あいさつ

■有本会長 皆さんご苦労様です。岐阜大学地域科学部の有本信昭です。長らく会長職を引き受けている。私だけが恵那市外から来ている。私の役割は、公明正大にこの委員会の進行をお手伝いすることである。

皆さんご存じだと思うが、総合計画に10年間恵那市の行政運営の基本構想と基本計画を定め、その計画に従って長期的な視点からまちづくりを進めている。5年たつと前期、後期に分けて大きな見直しをする。2年前に見直しをした。今は後期計画の2年目に入っている。計画を毎年進行管理するために、市民委員会を設け、毎年1年間の業績をチェックし、次のよりよいまちづくりに反映させる。この1年間よろしくお願ひしたい。

私は普段、大学で、協同組合論、消費経済論、食糧経済論の授業を中心にしており、相手は20歳から21歳の学生だ。常に心がけているのは、今の経済社会の状況を踏まえ若い世代にどういうメッセージを出すかということだ。皆さま方の顔ぶれを見ると、各分野での第一人者ばかりなので、これからその分野で若い世代をどう育てるか考えていると思うが、若い世代から社会を見ると、社会の将来がよく見えない。3・11からこれからどうなるか分からない。ニュースを見ても将来の不安ばかり。若い世代は就職を控え、仕事や老後のことなど心配ばかりだ。私が彼らに言っているのは、国はなかなか動いてくれない。

選挙に参加するぐらいしかできることはないので、棄権せず自分で判断して投票しろと言っている。国は動かないが県は少し身近だ。市町村はもっと近い。市長はお忙しいので話す機会がないが首相よりは身近だ。議員はもっと身近だ。市町村の職員は近くにいるかもしれない。国、県、市町村の順で、身近な自治体に関して関心を持ってほしい。前途を悲観して諦めては世の中は動かない。4年間しっかり学び、自分を成長させ、社会に貢献する人間として明るく楽しく前向きに生きるように物事を捉えよと話している。

その流れで言うと、市民委員会の皆さま方は、各分野の第一人者として次の世代を育てるために今自分が何をやるべきかというメッセージをよりシャープに持ち、それを委員会全体のものにするために発言して欲しい。家庭、地域、いろいろな場所でそのメッセージを大胆に明るく前向きに発信してほしい。それが行政と市民の間を縮めることになる。個人、市民と行政とをつなぐ橋渡しとして皆さま方が奮闘することをお願いする。年間3回2時間ずつの会議だ。前向きに発言する元気をその都度得ていただき、その成果を発表してほしい。

3 市長あいさつ

■可知市長 こんにちは。大変暑いところありがとうございます。一番寒いのは岩村だが夏の暑さは変わらない気がする。

平成23年度の結果を皆さま方にお知らせし、その上で総合計画の進行管理がどうなっているか見ていきたい。「恵那市の経営」という冊子がお手元にある。平成23年度、後期計画の初年度がどうなっているか明らかにしている。目を通してほしい。5ページにめざそう値のことが書いてある。196項目のうち23年度に目標達成したものが41%、下回ったものが58.7%。決していい状況とは思えない。なぜそうなってるのかも含めて検証してほしい。この冊子の中には、各部の組織目標と達成状況も記載している。51ページ以降。市の組織がどういう目標をもってどういう効果を上げているかも見てほしい。5つに絞って重要課題を目標として持つように4月に指示している。私がヒアリングを受け、9月に中間報告する。3月に全体について自分たちがどのようにやってきたか最終評価をする。93ページからは、行財政改革行動計画の達成状況もあるので参考にしてほしい。末尾に東濃5市の財政状況の指標もある。恵那市の位置を見てほしい。

基礎自治体は直接市民に関わるので、道路でも国道や県道についてもまず市に整備しろと言われるが、私どもは要望を伝えることしかできない。市民の声がすべてそういうところにつながっていくわけではない。ただ、市民であると同時に県民、国民であるので、県も国もそういう意見を聞いていくことが必要だと思う。

後期計画の中の最も大きな事業である市立恵那病院の再整備について、基本構想と基本計画を策定したので、広報7月15日号でその概要を説明する。パブリックコメントも募集

する。各地域自治体の協議会にも説明し意見を伺っている。これについても総合計画の一番大きな事業なので、皆さんからもご意見をいただきたい。

今日は部会を再編した。よろしくお願ひしたい。

4 会議の公開、会議録の公表について（確認）

本日の会議は公開とさせていただき、会議録も公表するのでご了承願ひたい。以降、有本会長に議事進行をお願ひする。

5 議事

（1）推進市民委員会による総合計画後期計画の進行管理について

〔事務局による説明〕

■有本会長 意見、質問があれば発言してほしい。

特に異議なしということだ。また何かあれば最後にお願ひする。

（2）総合計画後期計画の達成状況について。

〔事務局による説明〕

■有本会長 質問、意見があれば。

■委員 「3、快適に暮らせる」というところで、私は地域協議会にも関わっている。計画的な土地利用。都市計画マスタープランについて、地域協議会の連絡会議で説明を受けた。13地域が、将来のマスタープランを是とするか非とするかは別として、各地域の中で、新たな予定がなければ地域で今後の在り方として考えていくということだ。20年先という長いもので、経済状況など見通しの立てにくいことがある。恵那駅北側は過去から何ともならないと言われている。東濃5市を見ても恵那のみが少し方向付けされていない。15年先には、リニア開通の時期を迎え、リニア駅と既設恵那駅のアクセスも課題になる。北側の地域を含めた活用の仕方が出てくると思うが、この辺は据え置いたままになっている。行政が20年先も考えられないということが問題提起されれば、地域としてはこれ以上のものが考えられない。マスタープランはコンクリート化されているものではないと思う。おおよその方向ということだから。私どもの地域協議会もこの課題を出したが、その辺のプランと擦り合わせはどういう考え方か。

■有本会長 関連した意見はあるか。なければ、事務局から回答してほしい。

■企画部長 都市計画マスタープランは建設部の担当だが、私も委員だったので若干知っている。

リニアが予定されているので、現在は3km幅の路線帯しか発表されていないが、来年の秋以降に1万分の1以降の地図に落とされる。それ以降、マスタープランも若干見直すことになっている。委員の言われた長期的なことがこれから考えられる。リニアのまちづくり構想の市民委員会を立ち上げた。現在の総合計画は27年度までだ。それ以降については、リニアの開通を見据えて、アクセス整備、基盤整備、観光振興、産業振興など、リニアにまつわる長期的な計画は総合計画に先んじて立てる。都市計画マスタープランと一緒にあってリニア関連の中でまちづくりを考えていく。

■委員 後期計画が27年で終わることは承知している。都市計画マスタープランは20年で提起している。その長期プランが、現状のままコンクリート化したまま続いているところに問題がある。27年までの後期の3年間のことではなく、20年間に及ぶ将来のマスタープランと、その中における位置付けが少し変わっているかと思ったら変わっていない。これは、行政の進め方として、もうどうにもならないという認識で相変わらず表現されているのか。理解できないのは、後期計画と都市計画マスタープランはリンクもするが、先々の提案の仕方として、地域で協働の部分が出てくる。地域協議会としては、これをこうしてくれという地域的要望が今後計画の変更に結びついていくのか尋ねている。そういうすり合わせができるかどうかだ。

■企画部長 都市計画マスタープランについては、リニアが確定した時点でそれを生かして見直しするという計画だったと私は認識している。

■建設部長 都市計画マスタープランは2、3年で見直しをすると位置付けている。駅北のこともその折には話題になると思う。

■委員 先日地域協議会でも道路に関する役員を出せと言われて選出した。公共交通の体系を市としては検討しているがいまだ方向が出ていない。年寄りが増えているし、困っている人も多い。近い将来結論を出すなり実験的にやるなりして何とかするべきだ。現状を聞きたい。武並町は昨年8月に瑞浪恵那道路整備のルートが発表された。片側2車線の道路が計画されている。武並町には強い反対意見もあるが全体としては整備してほしいということで市長に建議書を出した。平成24、25年度以降の考え方はあるか。行財政改革の関係では、これから大きな問題になると思うが、上下水の設備が老朽化している。それを全面的に更新しないといけない時期が来る。かなりの投資が要ると思う。それを考えているか。

■有本会長 ほかにも意見をもらおうと思っていたが、この後部会を作り役員を決めることになっており時間が少ない。質問したいことはたくさんあると思う。今日答弁をさせていただきケリがつくとは限らない。部会で検討してもらってもいい。部会で考え来年のため

にということもあると思う。この場としては質問を打ち切りたいがいいか。

■経済部長 公共交通は、今年度から来年度にかけて新たに施策を検討することになっている。バス、明知鉄道を含め検討する。

■建設部長 瑞浪の4車線化されているところから釜戸を經由し榎ヶ根まで19号バイパスとして瑞浪恵那道路と位置付けられている。現在都市計画法では県による都市計画の素案の作成がされ、公聴会がされ、県に恵那市の意見を出している。今後県による都市計画の作成がされて、公告縦覧になる。先般武並町から建議書を出してもらい、さまざまな意見が出てきているので、それを一つずつ確認していく。まず、段階を追って都市計画決定されないと事業認可されない。これは1年以上かかると思う。恵那市としては流れを見ていく必要がある。住民の意見を上に上げていくことが必要だと思っている。

■水道環境部長 上下水道の老朽化、耐震化について現総合計画にも一部載せているが、下水道は処理場の長寿命化、管路の耐震化計画を進めている。上水は、配水池の更新、主要な幹線管路の耐震化も一部計画に盛り込んでいる。

■市長 全体的に話す。コミュニティーバスについて。恵那市は広いので足の確保が難しい。根本的に、市民のためにどういうものが必要か考えないといけない。お金がかかるのでどう市民に負担してもらおうのが課題だ。ネットワークを作らないといけないので早急に立ち上げる。

都市計画マスタープランは柔軟に考えないといけない。正家地域でも区画整備事業を進めたいという意向がある。そうなるとずいぶん変わってくるので、その都度しっかりプランの計画を練り直さないといけない。

瑞浪恵那道路は、事業化になるところで恵那市の意見をしっかり言う。今は環境アセスの段階なので、今は事業者にも言っても受けてもらえない。事業にかかる段階で言うことだ。皆様方の意見をいただいているのでそれを踏まえてやりたい。

下水だけでなく道路、橋梁も老朽化している。これを更新するにはお金がかかる。公共施設の基金も積み上げている。それに対応するよう準備している。これはこれから課題になるので、ほかの投資をやめてもやらないといけない。

■有本会長 時間がないので、あとは部会等で深めてほしい。

(3) 総合計画推進市民委員会部会の再編について

[事務局による説明]

■有本会長 新しい提案として、各基本目標に1、2に絞って議論してほしいということだが、いかがか。

異議がなければ、了承されたということで。この後、休憩を挟んで部会を行う。副会長からまとめをお願いしたい。

6 全体会閉会

■副会長 日ごろのお礼を申し上げたい。私はつい5月まで恵那市の観光協会にいた。現在も席がある。皆様方にはご支援をいただきありがとうございます。今後もよろしく願いしたい

現在、明知鉄道にいる。後期計画の公共交通の中にめざそう値が付いている。明知鉄道の数字も載っているなので目が離せない。27年までこの計画が続くので、市民の目線で捉えていくことが大事だと思う。

[閉 会]

各部会の開催結果

健康福祉・生活環境部会

1. 部会長、副部会長の選任

部会長 安藤 洋子

副部会長 山本 和男

2. 議論する施策の選定

目標 1 施策 2 健康づくりの促進

目標 2 施策 4 災害に強く、安心・安全なまち

欠席委員 樹神 和昭 近藤 良三

都市交流基盤・産業振興部会

1. 部会長、副部会長の選任

部会長 大嶋 晋一

副部会長 篠原 重遠

2. 議論する施策の選定

目標 1 施策 4 高度情報通信基盤の整備

目標 2 施策 5 地域資源の連携による個性的な観光の振興

欠席委員 田中 征衛 松井 眞

教育文化・市民参画部会

1. 部会長、副部会長の選任

部会長 伊藤 保直

副部会長 鎌田 基予子

2. 議論する施策の選定

目標 1 施策 1 学校教育の充実

目標 2 未定

欠席委員 安藤 奈都美 加藤 規久 鎌田 基予子

(敬称略)